

災害時外国人支援サポーター養成講座@宮古島 受講者募集要項

1 目的：

激甚災害が全国的に頻発していますが、沖縄も例外ではありません。もし県内で大規模な災害が発生した場合に、我々はどう乗り切るのか。空港や港が使えない、容易に他県からの応援が得られないとすると、どうことが起こるのか。

一方、新型コロナウイルス感染症禍の影響に伴い県内の在住外国人数は微減したものの、今後においては増加に転じ、またポストコロナにはインバウンド需要の回復も見込まれることから、地域防災力を高めることにより、万一の場合に外国人の方々がことばや文化の違いのみをもって避難所等で孤立することのない支援体制を確立することは喫緊の課題です。

本講座は、参加者の「防災・減災」に対する意識を高め、島嶼県沖縄の地域防災力の向上を目指すとともに、災害時に外国人に寄り添うことができる人材を育成することを目的に実施します。

2 対象者：

全講座（2回）の受講できる方を参加の要件とします。なお、国また県から「緊急事態宣言」またはそれに相当する自粛要請が発令された場合、講座を中止します。

3 実施日：2022年1月25日（火）～1月26日（水）*（詳細は「8 スケジュール」を参照）

*自然災害等により、「特別警報」及び「暴風警報」が発令された場合、講座を中止します。

4 実施場所：宮古島未来創造センター 多目的ホール（宮古島市平良東仲宗根807）

5 募集定員：30名程度

6 募集期間：2021年11月29日（月）～2022年1月16日（日）

7 申込方法：

- (1) OIHF ホームページ (<https://kokusai.oihf.or.jp>)内にあるオンラインフォームに、必要事項を入力の上、**2022年1月16日（日）**までに申し込んで下さい。（電話やメールでのお申し込みはお受けできません）
- (2) お申込み後、自動返信メールの受信を確認して下さい。確認できない場合、必ず OIHF までお問い合わせ下さい。
- (3) 参加は応募先着順とし、定員に達し次第、募集を締切ります。 予めご了承下さい。

8 災害時外国人支援サポーターの認定

全日程を受講された参加者は、OIHF の「災害時外国人支援サポーター」に認定し、修了登録証（I.D.カード）を交付するとともに、サポーターとして活動できるよう、財団負担によりボランティア活動保険に加入いたします。

9 スケジュール

平時から防災や減災に対する意識を高め、災害時の避難所等において外国人を含めた被災者にどのようなサポートをすることができるのか等について考え、知識を研鑽することを目的としていますので、講座は日本語で行います。

回	日時	内容
第 1 回	1 月 25 日 (火) 9:15~17:00	<p>【導入・演習】災害時外国人支援の課題 -多文化共生社会の実現に向けて- 講義と演習を通して、県内に来県する外国人観光客や在住外国人が大規模災害時に直面するであろう問題や災害時のフェイズごとの支援のポイントを確認する。また「ストック情報」や「フロー情報」の理解を深めることで、「災害時外国人支援サポーター」として、どのような役割を担うことができるのか、具体的に学ぶ。</p> <p>【講義】災害時の外国人のニーズと財団の役割 他県の事例をもとに、外国人が災害時に対してどのような意識を持っているのか等を確認し、本事業の趣旨や大規模災害時における財団の役割について概説する。本講義を通して財団・サポーターとしてできる支援について考えていく他、災害時を取り巻く問題についてもこれまでの事例からみていく。</p> <p>【報告】熊本地震多言語支援 2016 年 4 月に熊本県で起きた熊本地震の際に、熊本市国際交流振興事業団により立ち上げられた多言語支援センターに実際に参加し、外国人支援を行った職員による活動報告を行う。報告を通してサポーターとしてどのような活動を行うのか、具体的にイメージすることを目的とする。</p> <p>【演習】外国人被災者支援のための「オンライン避難者登録フォーム」活用セミナー 外国人観光客の帰国や健康状態、在住外国人のこたばの壁等、大規模災害時に困難な状況に直面する外国人を支援するため、また避難所を巡回する職員や災害時外国人支援サポーターの円滑な情報収集を図るべく、「多言語オンライン避難者登録フォーム」の活用方法を学ぶ。本フォームは、OIHF が開発したもので、大規模災害時に避難所巡回を通して得られる情報をデータ化し、各市町村や関係機関に円滑に情報提供できるよう整備された。</p>
第 2 回	1 月 26 日 (水) 9:15~17:00	<p>【講義・演習】災害時に役立つ「やさしい日本語」 東日本大震災や鬼怒川水害、熊本地震等でも注目された「やさしい日本語」とは何か、実際に我々が使っている日本語とどのように異なるのか等、基礎的なことを学ぶ。実際に災害時に使われる表現を「やさしい日本語」にする演習も行う。</p> <p>【導入・演習】避難所運営ゲーム（HUG 図上訓練） これまでの講義で学んできたことを応用し、他の参加者と協力しながら避難所に見立てた模造紙の上に、被災者を敷地のどの位置に避難させた方が良いか等を考える、机上訓練「避難所運営ゲーム（HUG）」を行う。</p>

10 個人情報の使用に関する同意のお願い

公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団では、ウェブサイトやパンフレット、ポスター等の広報媒体において、事業に関する広報活動を広く行っております。事業内容を沖縄県民や関係機関にできるだけ具体的に表現するため、参加する皆さまの肖像（写真や動画など）を広報媒体に掲載させていただくことが非常に有効な手段であると考えております。皆さまの肖像につきまして、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

11 お問い合わせ

共催団体：

宮古島市総務部防災危機管理課 仲地（なかち）

住所：〒906-8501 沖縄県宮古島市平良字西里 1140 番地

TEL: (0980)72-3751(内線 2491) Email: bousai-miyako@city.miyakojima.lg.jp

主催団体：

公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団 国際交流課 葛（かつら）

住所：〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐 4 丁目 2 番 16 号

TEL : 098-942-9215 E-mail : kokusai@oihf.or.jp